横浜天声キリスト教会　週報　第15巻11号(No.527)　2020年3月15日

礼拝プログラム　※主の導きにより変わる事があります

黙祷　エペソ2:20-22 ・・・・・・・　御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
*賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・　21番　力の主を
*交読文　・・・・・・・・・・・・・・・　39番
*使徒信条　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*頌栄　・・・・・・・・・・・・・・・・・　177番　み霊よ、降りて
礼拝のための祈り　・・・・・・・成田エクレシア:史執事　天声:小林 伝道師
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・　427番　日ごとよろこび
メッセージ　・・・・・・・・・・・・・・十字架の手幅を加えて測るなら(エゼキエル40:1-5)
御言葉を適用する祈り　・・　会衆一同
賛美　・・・・・・・・・・・・・・・・・　221番　カナンの聖なる地に
献金感謝の祈り　・・・・・・・・パスター
報告　・・・・・・・・・・・・・・・・・　本日午後は成田礼拝です。横浜での英語礼拝はありません。
*主の祈り　・・・・・・・・・・・・・・会衆一同
*祝祷　・・・・・・・・・・・・・・・・・パスター

天声教会は

・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ10:10)
・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

イエスは____に答えて言われた、「この水を飲む者はだれでも、またかわくであろう。しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう」。
____はイエスに言った、「主よ、わたしがかわくことがなく、また、ここにくみにこなくてもよいように、その水を____に下さい」。(ヨハネ4:13-15)
御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川を____に見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。のろわるべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は都の中にあり、____は彼を礼拝し、御顔を仰ぎ見るのである。____の額には、御名がしるされている。(啓示録22:1-4)
そこで____は、もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者であり、神の家族なのである。また____は、使徒たちや預言者たちという土台の上に建てられたものであって、キリスト・イエスご自身が隅のかしら石である。このキリストにあって、建物全体が組み合わされ、主にある聖なる宮に成長し、そして____も、主にあって共に建てられて、霊なる神のすまいとなるのである。(エペソ22:19-22)

メッセージ概要

昨今流れて来るニュースを聞き、また自分の今のありさまを量ると、あまり希望は持てないかも知れない。しかし私達は、キリストにあっていつも希望が持てる。なぜなら将来と希望は、自分の力でつくり出すものではなく、私達の主・イエス様から来るである。教会(エクレシア:呼び出された者達)は、キリストのからだであり、一切のものを、一切のものによって満たす方の満ちておられるところである。(エペソ1:23)

今回のエゼキエル書の時代は、バビロン捕囚の真っ只中、神殿は徹底に破壊され、廃墟となって14年が経った、希望も何も持てないような時代である。しかし主は、その時代に、素晴らしい幻を見せて下さる。
主の手(ユッド)が彼の上に置かれ、連れて行かれた先は、イスラエルではあるのだが、現実のイスラエルとはどうも様子が違う。彼は非常に高い山の上に降ろされ、その南の方に町が建てられているようであった。
その神殿の門に、一人の主の使いがおり、彼は手に測りざおを持っていた。その測りざおの一キュビトは、**普通の一キュビトに一手幅を足した長さ**であった。そのはかりで幻の中の神殿の寸法を次々と測って行く。

人間が立てた神殿は、人間の罪の故に、破壊されてしまった。しかし主が示された幻の神殿を、人の基準を用いず、ただ、「主の手幅」が加えられた基準で測って行くと、やがて、**神殿の敷居から水が流れて出て行く**。その水は溢れて川となり、流れて行った先をさらに測って行くと、水かさはどんどん増して行き、ついに、泳げるほどの川となった。その川の両岸にはあらゆる果樹が生長し、その葉は枯れず、毎月新しい実をつける。その実は食物となり、その葉は薬となる。この川が行く所では、すべてのものが生きる。
この川が流れて行く所は、非常に多くの魚がいるようになる。この水が入ると、その水が良くなるからだ。
そこの魚は大海の魚のように種類も数も非常に多くなるので、漁師たちがそのほとりに住みつく。(47:1-12)

この、**キュビトに足されたひと手幅。それはまさに、イエス様が十字架の上で釘付けられた手の幅**である。
人類は、エデンの園で善悪を知る知識の木から取って食べて以来、**神から離れた「善悪判断」という、破綻した測り**によって物事を判断し、物事を狂わせ、破綻するしか無かった。しかし主の十字架の御手(ユッド)が加えられた測りで測っていくなら、狂っていた全ての寸法は全て治っていく。破壊され死んで行くしか無かったものも、この御手が加えられたはかりで測っていくなら、いのちの水が湧き出、川となり、死んでいた所は、いのちに満ち満ちた所となり、そのいのちにおびきよせられ、ついには天国に至る(啓示録22章)。
イエス様へと来る人は、誰でも、このいのちの川が流れ出て行くようになる。サマリヤの女はそれまで、自分のものさしによって生きて、結婚生活が破綻していたが、そんな彼女にイエス様は言われた。『*この水を飲む者は誰でもまた渇くであろう。しかし、わたしが与える水を飲む者は、いつまでも渇く事がないばかりか、わたしが与える水は、その人の内で泉となり、永遠の命に至る水がわきあがるであろう*』。』(ヨハネ4:14)
御言葉のはかりで測るなら、私達こそ神の神殿である。この、主のまぼろしに示された私達・神の神殿を測って行くなら、私達はいのちの水を流し出し、いのちにあふれた者となって行くのだ。私達は十字架の御手が置かれ、神の民とされ、神の家族とされた。このお方が隅の親石となり、私達はその上に建てられ、組み合わされ、建物の全体が成長し、主にある聖なる神殿、神の御住まいとなるのだ。(エペソ2:19-22)

サラは自分も主人も老いてしまって何の喜び(エデン)があるだろう、と、狂ったはかりで自分をはかり、「ためいき笑い(ツハク)」しか出てこなかった。しかし、そこに主の御手(ユッド)が介入し、彼女はイサク(イツハク:ツハクにユッドが加わった)といういのちを産み出し、腹の奥底からの喜びが湧き出るようになった。
主の御名のヘブライ語は、ユッド・ヘー・ヴァヴ・ヘー、すなわち、手を見よ、釘を見よ、という意味である。私達も、寸法をはかってくださるイエス様の愛の御手が置かれ、全てが直されて行くよう、祈り求めるべきだ。
主よ、私の人生を測ってください。私達の夫を、妻を、子を、仕事を、事業を、人間関係を、また、病んでしまっているこの体を、この狂ってしまった世界を。どうかあなたの十字架の御手が、これらの上に置かれ、正しい寸法になり、いのちの水を豊かに流しだすものとし、私達の家庭や職場が、いのちに満ち満ちて行く所としてください。そのように切に祈り、主の御手によって創り変えられ、腹の奥底から湧き上がる喜びといのちに溢れていく皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

集会案内

主日礼拝（日曜）

日本語礼拝	賛美 10:30	礼拝 11:00
食事/フェローシップ		12:30～
English Service		14:00～

日々の集会

月～金	早天祈祷会	5:00～
火・木・金	賛美と祈りの集会	13:00～
火～木	夜の祈祷会	19:30～

水曜礼拝

1 部	13:00～
2 部	19:30～

金曜徹夜祈祷会 21:00～

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6 番 B 出口を出てまっすぐ徒歩 5 分
JR・関内駅より徒歩 10 分
京急線・日ノ出町駅より徒歩 10 分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1F がファミリーマートになっております。

聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！

第 15 巻 11 号　　2020 年 3 月 15 日

横浜天声キリスト教会

礼拝　週報

〒231-0058　　パスター：　林和也　川合ゆきえ
神奈川県横浜市中区弥生町 2-17　ストークタワー大通公園 I-201
TEL/FAX： 045-326-6211
Homepage： http://voice.of.christ.yokohama/
email： ephes_03-tensei@ yahoo.co.jp

YouTube